

# 稲美町教育委員会議事録

1 開催日時 令和4年10月27日(木) 開会 15時00分  
閉会 16時53分

2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

## 日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 10月・11月の行事予定について

## 日程第2 議案

議案第10号 令和5年度稲美町立幼稚園の入園許可について

## 日程第3 協議

- (1) 令和4年度全国学力・学習状況調査について(別冊)
- (2) 令和4年度初任者研修(町教委主催第3回)について

## 日程第4 その他

- (1) 9月分問題行動件数について
- (2) 令和4年度(令和5年)町幼稚園・小学校・中学校の卒業(修了)式等の日程について
- (3) 稲美町教育委員会後援名義等の使用承認について
- (4) 区域外就学許可の報告について
- (5) 令和4年度第1回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会について
- (6) 第1回稲美町心の健康サポート委員会の報告について
- (7) 第3回稲美町教育振興基本計画点検評価委員会の報告について
- (8) 第1回稲美町通学路交通安全対策協議会の報告について
- (9) 文化会館運営審議会の報告について

(10) コスモホール文化振興協会役員会の報告について

(11) 令和5年度の予算編成について（別冊）

#### 4 出席委員

教 育 長	北 谷 錦 也
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	本 多 澄 子
委 員	高 田 道 夫
委 員	松 田 緑

#### 5 出席職員

教育政策部長	沼 田 弘
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山 本 勝 也
学校教育担当課長	野 邊 久 美
管理担当課長	井 上 智 久
人権教育課長	瀧 口 泰 広
生涯学習課長	北 口 和 美

#### 6 開 会

##### 教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

会議の傍聴についてですが、傍聴される方はいらっしゃいません。

次は、議事録の承認です。9月の定例会議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

##### 各委員

異議なし。

##### 教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。本日は、本多澄子委員にお願いします。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課 (報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

後藤委員

教育課で2ページ10月24日の稲美中学校ふるさとデーと、11月5日のふるさとデー、11月12日の「つながりウォーキング」、こういうコミュニティ・スクール関係で地域との協働で教育にあたっていくということで、いろいろ新しい事が計画されていると思います。ちょっと心配なのは、学校現場で先生方の勤務時間の範囲内で、できるだけ忙しくならないように配慮が行われつつ、こういう新しい行事が増えていくのは仕方のない事と思うのですが、効果的かどうかを確認しながら、やっていくことが必要なと思います。

もう一点、4ページ人権教育課の10月25日の不登校対策に係る連絡協議会ということで、適応指導教室・校内適応指導教室の現状と今後の取組について、こういう内容での打ち合わせ会は初めてだと思うのですが、それぞれの会のメンバー、学校関係だけなのか、アドバイザーの方とかはいるのか、教えていただけたらと思います。

野邊課長

コミュニティ・スクールの活動については、時間外の勤務をしていただくという点では、割り振りの方で記録していき、また別日に早く帰っていただく、お休みを取っていただくというような対応をしています。随分と軌道に乗ってきましたので、コミスク委員による提案や計画、活動への積極的な参加があり、中学校のボランティアの生徒達が参加して運営を手伝ったり、会を盛り上げたりしているという状況です。

瀧口課長

稲美中学校は、生徒指導担当の教員と生徒指導員で、稲美北中学校は、不登校担当教員と生徒指導員、教育委員会からは、ふれあい教室の担当の先生と教育課の指導主事、人権教育課長、以上7名の構成員で、今回は特別に教育長にも参加していただいて会をすすめました。

高田委員

人権教育課の11月17日ふれあい教室校外学習で、国立民族学博物館、EXPO'70企画展等の見学、私は大阪万博は、高校1年生から2年生になる時に体験して、非常に懐かしいのですが、単純にこの言葉だけで考えたら、大阪万博を体験した世代と全く知らない世代の人達が一緒に行ったら、まさにふれあいというか、楽しい、「こうやったやで。」「そうですか。」となるような想像をしたのですが、このふれあい教室校外学習とは具体的にはどのようなものですか。

瀧口課長

ふれあい教室は、適応指導教室に通われている児童生徒が参加する予定になっております。ふれあい教室の担当教員が引率します。子どもと先生しかいないです。今回は稲美北中学校から不登校担当の先生と稲美中学校から教頭先生も来ていただいて、3人の先生と児童、今登録者が11名いますので、最終的に何名の児童が参加するかわからないですが、そのメンバーで行く予定になっております。

教育長

他いかがでしょうか。

次は日程第2「議案第10号 令和5年度稲美町立幼稚園の入園許可について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

井上課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

私加古地区の出身で69年住んでいるのですが、加古幼稚園の許可園児数1名というのは、ほんとにすごい、これは何も教育委員さんの責任でも何でもないわけですが、「こんなことでええんか」と2年前にも思って、今回余計に思っているわけですが、恐らく全体として稲美町は農業も大事な産業であると農地も大切だということで、なかなか他の地区に比べて、農地を転用するのは難しいのは重々承知しているわけです。私も地元の営農組合の役員でもあり、農地の大切さとバランスの取れた人口構成、あるいは子どもの数の構成について、もっともっと教育委員会から、町長に言うとか、あるいは議会の人に言うとか。そんな単純なことではすまないと思うのですが。言いすぎると加古はものすごくさびれていくような感じもしてしまいますので、あまり強調してもいけないなと思いつつ、やっぱりなんとかしないとと思うのです。かく言う私の息子も2人も出ていってしまっておりまして、戻って来いと言っても田んぼはありますけども、その田んぼを転用するのは難しい。加古に住んでいる誰もが感じることなのですが、何も特定の地域に力を入れて下さいというつもりはないのですが、ほんとに加古はどうなってしまうのだろう。私の時は参考までに言いますと、2学級で75人だったと思います。保育園に行く人が多いというのも重々承知していますが、この場で何か答えていただくのではなくて、心して加古地区に思いをはせていただきたいと思います。

沼田部長

いろいろなことが関係してくると思います。市街化区域と市街化調整区域がある中、市街化調整区域を市街化区域にしたら良いのではないかと一般的な意見がありますが、市街化調整区域は農業を進めていく、市街化区域は市街化していくという考えがあります。市街化調整区域でも家が建てられるようになれば、減っていく人口を少しでも残していけるということで、地区計画を立てて人口を多かった時に戻せるような計画を地区ごとにできる制度があります。稲美郵便局の北側では、地区計画ということで、数十軒ほど住宅が建設され、数人の児童の転入がすでにあつたとおききしています。母里小学校の方も、母里小学校の西側にそういった計画があります。もともとある市街化区域、市街化調整区域の仕組みはあるのですが、今現状で取り組むことのできる地区計画などで人口が増加するようにしております。

幼稚園の4歳の新入園、加古幼稚園は1名ですが、母里幼稚園、天満幼稚園、天満南幼稚園で3歳児保育を受けていた加古地区の方が加古幼稚園の4歳児として入ってきます。

教育長

稲美町にとって一番大きな課題だと思っています。町長を中心に行政の中だけではなくて、議会の方でも、常にご質問いただく、あるいは提案をいただくところです。どうしても稲美町に限らず少子高齢化というのが、国全体の社会全体の課題になっている中、それぞれの家庭の生活スタイルというか生活様式が変わってきている。核家族化が進む中で、幼稚園よりも保育園を選ばれるという状況、お仕事の関係とかそういうところも出てきています。そんな中、稲美町5園各

園で、それぞれ幼稚園教育の良いところというか、特色を出しながら、幼稚園を選んでいただけるように努力をしていきたいと思っておりますし、教育委員会としてもそれを支援する方向でいきたいと思っております。ただ圧倒的に子どもが少ない。町長の方からも稲美町の魅力作り、多くの人に来てもらえるような町にしようという事で、委員会としても教育のところで頑張っていたらと思います。難しい課題ですけども頑張っていきます。

教育長

他いかがでしょうか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第10号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第3、協議事項(1)「令和4年度全国学力・学習状況調査について」を事務局から説明願います。

野邊課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

3ページ高い項目の「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。」、「普段、1日当たりのテレビゲームをする時間が3時間より少ない。」、これも良い傾向だなと思います。

一方同じような内容で中学校を見ますと、同じ内容が低い項目で出ているということで、「普段、1日当たりのテレビゲームをする時間が3時間より少ない。」子が少ないということで、スマートフォンについても同じで、小学校の子どもの場合は、新しい機能、使い方について適切に使い方について時間等守った中でできているのかなと思います。中学校になりますと、それに対して生活の中で多く使われている、前回の結果にもそういったところが出ているのかなと思います。連続してでてくると、また次回も同じように出てくるとなりますと、それは課題として何か考えていけないといけないのではないかなと思います。

私が中学校3年生の時、校長先生が講義をしてくれて、たった1回だけのことなのですが、テレビが大変普及した、ずっと見ていると読書とか勉強の時間が減ってくる、いろんな情報が一度に入ってくるから気をつけないと混乱してしまうこともありますよと、特にその情報を選択する力が必要なんだということを強調されていたのをはっきり覚えています。衝撃ではあったのですが、そんなものかという感じで、我々にとってはテレビというのは、いろんな内面的な成長する上で、一つの乗り越えないといけない課題であったと、今振り返ってみますとそう思います。今の子ども達は、テレビゲームがあり、スマートフォンがありということで、動画で自分の興味のあるものをなんでも見られる、それとどう自分が付き合っていくか、非常に難しいことだと思います。後で振り返ってみて、振り回されていたと、という事を思うようになったら困るわけで、それが非常に問題だということを中学生への啓発と言いますか、そういったことが必要になってくるの

ではないか思います。校長先生が思わず学級に行って、直接子どもに話さなければならないと思われた、それと似たような感じを受けるのですが、今後も同じような課題が出てきた時に、これについてどうするかという準備をしていく必要があるのではないかなと思います。

野邊課長

学校の方も課題と捉えておりまして、情報モラルや使い方について子ども達への啓発、学びの場も増やしていくように考えております。またその一方で、生徒たち自身も課題と気づいておりまして、生徒会を中心に自分たちでルールとかそういうのも作って行って、みんなで考えようじゃないかということも高まっていっています。その点は、子ども達の自主性といいますか、自分たちで動いていこうという気持ちを大事にして、サポートしていきたいと思っております。

教育長

次は(2)「令和4年度初任者研修（町教委主催第3回）について」を事務局から説明願います。

野邊課長 （説明内容省略）

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項を終わります。

次は、日程第4、その他(1)「9月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

野邊課長 （説明内容省略）

瀧口課長 （説明内容省略）

本多委員

ふれあい教室について伺いたいののですが、9月から3名の方が新しく来られたとお聞きしたのですが、その後の様子はいかがでしょう。

昨年度兵庫大の学生さんが来られたのを記憶しているのですが、今年度は何か学生さんが来られるというのはないのでしょうか。

瀧口課長

3人新しく入ってきておりまして、8名だったところが今11名になりました。小学生1名、中学生2名、この3名が今毎日来ているところです。彼らに居場所が出来つつあるのかなと思います。そこでエネルギーを溜めていただいて、学校復帰が目的じゃないですが、出来たら学校に復帰できるように考えています。

兵庫大学の話が合ったのですが、月に2回大学生に来ていただいています。大学生の方もほんとはもっと来たいのですが、交通手段としてタクシーしかない為、月に2回ほど来ていただいています。

もう少ししたら、採用試験の受験が終わりつつある4年生の方に来ていただける予定になっております。

教育長

つい先日、私も覗きに行かせていただいたのですが、新しい子どもたちが通って来ているという事で、カードゲームを担当の佐藤先生と一緒にやっていて、3人と聞いていたけど多いなと思

ったら、大学から来てくれていた方でした。ほんとに馴染んでいるので、中学生と変わらないような感じで、楽しそうにやられていましたので、非常に子ども達にとっては距離が近くて良いのかなと思っています。兵庫大学は近くですので、連携をもっと進めることができたらなと思っています。

先程報告がありました、小学校のいじめ3件についてです。いじめ3件については、重大なことにはなっていないと思うのですが、その後どうなったのか、指導も含めて教えていただきたいと思っています。

野邊課長

被害者加害者ともに学校の方で保護者も交えて話をし、今は普段と変わらない学校生活を送っています。

他には、ふれあい教室に通われて、エネルギーを溜めているという状況です。

教育長

他にご意見はございませんか。

後藤委員

中学校3年生の家出の件はどのようになったのですか。

野邊課長

良心的な方がお家に帰らないといけないよと論してくださって、警察に見つけていただきました。

後藤委員

わかりました。

教育長

他いかがでしょうか。

後藤委員からありました家出の際にも、死にたいというような意志を残して家を出ているということで、無事に保護されて帰って来られたのですが、そういうことから事務局から報告がありましたように、こども課にも協力していただいて、また中央こども家庭センターとも繋がりをつけて、今後当該生徒もちろんですけども、家庭の方の支援を続けながら様子を見ようと、まだまだ心配なところもありますので、委員会の方も支援をしながら気を付けていきたいとおります。

他いかがでしょうか。

次は、(2)「和4年度(令和5年)町幼稚園・小学校・中学校の卒業(修了)式等の日程について」から(4)「区域外就学許可の報告について」を事務局から説明願います。

野邊課長 (説明内容省略)

教育長

これらのことについて、何かご意見はございませんか。

次は、(5)「令和4年度第1回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会について」及び(6)「第1回稲美町心の健康サポート委員会の報告について」を事務局から説明願います。

野邊課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

22ページの生きる力を育むための小・中連携推進委員会、こういう委員会が開かれて、どのような方針で進めていったらいいかということを中心に協議されて、まとめていただいて、まさにその通りだと思うのですが、5番の総括、助言のところ、2行、私にとって大事な言葉がありました。保護者や児童生徒が家庭訪問を拒むケースへの対応について、「家庭訪問をするときは教師の上着を脱いでいく」「心身症が出ていけば、登校刺激は控える」。この2行について、まさにその通りだと思うのですが、保護者や生徒が家庭訪問を拒む、小さな子どもを親が虐待して子どもをひどい目に合わせるというのは新聞やニュースで出ておりますが、ここでの対応は、もっと大きな小・中学生であります。自分の経験をお話したいと思ひまして、私は、昔大阪で高校卒業していく専門学校に務めておりました。その頃、入学時の入学金と半年分の学費は払ったけれども、後期の学費は払わないが、かわいそうだから2年生に進級させた生徒がいました。2年生になっても前期分、後期分、授業料を全く払わないが、生徒は真面目に出席だけはちゃんとして、授業を受けていた。不登校ではないのです。授業料は払わない。そういう生徒に対して、卒業式まであと1月ぐらいの時に学校としてどうするかということ協議しました。私は責任者ではなくて決められたことを実行する役割だったのですが、電話をかけても繋がらない、朝かけても昼かけても夜かけても、夜中にかけても電話は出ない、訪問すると、セキュリティがあるので中には入れない、インターフォンを押しても、向こうから私の顔が見えるわけですから、私が来たという事はわかるので、中に居ても出ないという状況でした。そういう中で、手紙を出したり、いろいろしたわけですが、指導もできない説得もできませんでした。しかし、その生徒は真面目に勉強していたので、ちゃんとした就職先が決まったわけです。その状態で、学校としてどうすべきか。結局卒業させない、卒業に必要な授業料は100万ちょっとだったと思います。その住んでるマンションからすると、とてもそれが払えないという家庭ではなかったと思います。遂に、「卒業式の1週間前までに払っていない学費を払わないと卒業させません。」と、最終通告文を送りました。しかし、期限が過ぎてもお金を払わなかったのです。「あなたを卒業させません。」という通告文を作って送りました。そしたら、2、3日して、その100万ちょっとの入金がありました。学校としてどうすべきか、結局ここまでやったんだから、卒業させないという結論になりました。そしたら、頻りに電話がかかってきて、大いに非難されました。何が言いたいかというと、保護者に会う、生徒に会う、拒否した生徒に対してどう対応するかは、非常に難しい。私の学校の場合は、単にお金の問題でした。ここに書いてある生きる力を育むというと、お金ではない、もっと大変な問題があると思いますので、こういう風に具体的な、教師は上着を脱いでいく、心身症が出ていけば刺激を控える、こういうことは非常に大事ですが、場合によって、その時にどうすべきかということ先生方に考えていただきたい。私は非常に後味の悪い経験をしましたので、ぜひそれはお伝えしておきたいと思ひました。

教育長

小・中連携推進委員会は、私の方が委員長を務めています。長年、不登校は課題であり、またその不登校の生徒がここ数年急増しているという事で、小・中連携推進委員会は、小学校と中学校の適切な接続というか、中学校になって、環境が変わった中で、子ども達が適応しにくい状況



を出来るだけなくしていきましょう、ということで始まりました。ここ数年の中で、不登校対応という事で、その中で学校に対して子どもも家庭もなかなか心を開いてくれない、家庭訪問等にも応じてくれない、そういう家庭に対して、どのように接していこうかということで、協議をしております。ここでは、まずは共感するというか、一緒に考えましょうという姿勢を示すことが大切だと考えます。私たちがこうした方が良いですよという指導的な立場で入ると、なかなか相手の方、保護者や本人が受け入れにくいこともありますので、そういうことで教師の上着を脱いでいきましょうとか、大学の先生に研修でアドバイスをいただいています。高田委員からもありましたように、各学校であった事例や今困っている事を挙げていただきながら、そんな場合はどうするのか、一番困っているのは子ども達だと思いますので、こういう方法はどうかと考える、そういう会に出来たらと思います。

他いかがでしょうか。

次は、(7)「第3回稲美町教育振興基本計画点検評価委員会の報告について」及び(8)「第1回稲美町通学路交通安全対策協議会の報告について」を事務局から説明願います。

瀧口課長 (説明内容省略)

井上課長 (説明内容省略)

教育長

これらのことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

25 ページの通学路安全対策ということで、たくさんの方が登下校の時にいろいろ子ども達と一緒に登校してもらって、交通事故に合わないようにご苦勞いただいているわけですが、あの方々についての依頼とか、自治会とか、町としてはどこを主体に行っているのでしょうか。

井上課長

自治会の中で交通安全見守り隊で活動をいただいています。危機管理課で交通の安心安全対策をしています。

教育長

明るい緑色のジャケットを着た方です。プラス最近では自主的にボランティアで参加される方も多いです。

後藤委員

主に自治会を通じて途切れないように、お年をめされる方も多いと思います。次々と担当してくれる方がいないと途切れるかなと思ったりもするのですが、それはもう自治会にお任せしているということですね。

井上課長

そうですね。子ども達児童生徒の通学の安全をご協力いただいています。

教育長

次は、(9)「文化会館運営審議会の報告について」から(11)「令和5年度の予算編成について」

を事務局から説明願います。

山本部長 (説明内容省略)

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

これらのことについて、何かご意見はございませんか。

松田委員

コスモホールについてですが、「コスモ夢コンサート」は、水曜日の夜から土曜日の昼間に開催を変更したことによって、どれぐらいの参加者が増えたのか教えていただきたいです。

山本部長

「コスモ夢コンサート」ですが、水曜日の夜、月に1回程度やっていたのですが、土曜の昼間開催となりまして、以前は最高70名ぐらいだったのが、100名近く来ていただいていると思います。大概リピーターの方が多かったと思います。初めて来られた方も入っていただけるようになりました。例えば、図書館に来たのですが、こちら何をやっているのですか、という感じでコスモホールを見ていかれる方が増えたように思います。土曜日の昼間開催ということで、お客さんも入りやすくなったかなと思います。こういった点は、成功したかなと思います。

松田委員

昼間開催という事で、小さいお子様も見やすいかなと思います。  
無料でされているのですよね。

山本部長

無料で見ていただいています。  
確かに家族連れの方が増えたように思います。

松田委員

コスモホールは、音響の良いホールなんですね。みなさん知っていただいて、もっと利用していただきたいと思うのですが、ライブ配信ということなんですが、具体的にはどのようなことをされるのでしょうか。

山本部長

1回だけ県の方の講演会で県の要望でやったことがあるんですが、ライブ配信を考えているのが椿野委員長で、こういったことを音楽的な配信をライブ配信ができると、今では新しくできた会館とかは、当たり前のようにライブ配信できると、コスモホールができてから30年経つのですが、いろんなやり方、例えばWiFiの機器を設置してやるやり方、有線でやるやり方、見積もりを取りまして、令和5年度の予算要望に、設備の初期投資は少しかかるのですが、ライブ配信でコンサートとかをリアルタイムでみなさんに見ていただく環境を作っていこうかなと検討しております。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、11月24日(木)ですので、よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。